



日本防火技術者協会ニュース

特定非営利活動法人日本防火技術者協会

NPO 法人日本防火技術者協会 平成21年度通常総会予告

日時：平成21年2月5日(木)
13:30~14:00

場所：東京理科大学森戸記念館

議題内容《予定》

- 1) 平成20年度事業報告
- 2) 平成21年度活動計画
- 3) 会計報告、予算計画
- 4) 監査報告
- 5) 理事、監事の選任
- 6) その他

(社)日本火災学会 講演討論会開催案内 「社会福祉施設と病院の火災安全」

高齢化社会の進行により、社会福祉施設や病院等の数は着実に増加しています。量的増加だけでなく、グループホームに代表されるように、従来では予想されなかった形態の施設も登場し、その安全性が懸念されるような事態も発生しています。

本講演討論会では、社会福祉施設と病院の火災安全に関わる各分野の専門家に、建物設計時における安全設計の考え方、建物使用者からのニーズと維持管理および訓練の実態、消防隊による消火・救助の戦術の考え方等を報告して頂き、今後の社会福祉施設と病院のあり方を討論したいと考えております。皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

主催：日本火災学会

日時：平成21年1月22日(木)
13:00~16:30

場所：文京シビックホール(小ホール)

参加費：無料(ただしテキスト代
1,000円)

講演 13:05~15:20

講演1「病院・高齢者施設の建築計画と火災安全」富松 太基(株)日本設計

講演2「高齢者施設等の防火避難対策実態調査を通じて」古川 容子(財)日本建築センター)

(休憩 14:05~14:20)

講演3「社会福祉施設等における火災予防行政」青木 浩(東京消防庁)

講演4「防火技術者が果たすべき役割—日本防火技術者協会の取り組みの紹介」佐藤 博臣(株)ERS)

(休憩 15:20~15:30)

討論 15:30~16:25

交通：東京メトロ丸の内線・南北線：後楽園駅徒歩1分：詳細は火災学会ホームページをご覧ください。

<http://www.soc.nii.ac.jp/kasai/>

講演会開催報告

「建築構造部材の接合部耐火性に関する現状と課題」

過日ご案内を差し上げた講演会>>「建築構造部材の接合部耐火性に関する現状と課題(本会協賛)」については、12月1日に成功裏に開催されました。

- ・ 鋼構造接合部の耐火性に関する現状と課題(上杉 英樹、元千葉大学教授)
- ・ RC系構造の火災時耐力に関する現状と課題(安部 武雄、東京工業大学)
- ・ 構造設計からみた接合部耐火性の問題点とWTC7崩壊の教訓(池田憲一、(株)清水建設)

当日でご参加いただけなかった方で、資料の入手を希望される方は、日総試のご担当者より資料を送付していただくこととなりました。下記までメールにてご連絡ください。なお、資料送付に関わる費用は不要です。

(財)日本建築総合試験所
耐火防火試験室 宛
taika5@gbrc.or.jp

記載事項：ご所属、お名前、メールアドレス、お電話番号(念のため)



SFPE・J ニュース
(SFPE 日本支部
の活動 第21号)

SFPE 日本支部 2009年度通常総会開催案内

日時：平成21年2月5日(木)
14:00~14:30

場所：東京理科大学森戸記念館

議題内容《予定》

- 1) 2008年度事業報告
- 2) 2009年度活動計画
- 3) 理事、監事の選任
- 4) その他

SFPE 本部 2008年度 Annual Meeting 概要報告

日時：2008年10月12日~
17日

場所：Charlotte, North Carolina
Renaissance Charlotte Suites
Hotel

出席者 笠原支部長、原田理事

2008年度のSFPE 総会に先立ち開催された支部会議において、日本支部は、日頃の活動が評価され、優良支部賞銅賞を受賞しました。

また総会で、原田理事が

「Development and Spread of Japanese FSE-Past, Present and Future」という演題で招待講演を行いました。

総会時には、例年行われておりますように、本年度も技術論文の発表、企業展示(40社)、教育セミナーが実施されております。

東アジア地域の新支部として、マレーシア支部が設立されました。



シンポジウム開催案内

日時：平成21年2月5日(木)
14:30~17:30

場所：東京理科大学森戸記念館

講演内容《予定》

2008年4月にオークランドで開かれたSFPEの国際シンポジウムにおけるケーススタディの紹介

14:30~

「単一階段の高層集合住宅の性能的火災安全設計」

1. 主題解説
2. 建築計画の概要と解決すべき防火上の課題
3. 火災の進展に応じた段階的避難計画
4. 生起確率に基づく防煙計画
5. 空間計画に即した消防活動計画
6. 諸外国の性能設計の紹介

16:40~

・老人福祉施設、学校教育施設の避難安全に関する研究会からの報告

シンポジウム開催案内(予告)

日時：平成21年3月12日(木)
13:30~17:00

場所：建築学会会議室

主催：建築学会防火委員会防火技術職能検討WG

講演内容《予定》

「防火技術者」の職能について提言する！」

司会 富松太基(日本設計)

1. 防火技術者の意義：
笠原勲(日本防火技術者協会)
2. 海外では？；
未定(行政関係者)
3. 日本での望むべき姿：
中島秀男(明野設備研究所)
4. 建築学科および大学院における教育カリキュラムの例と最近の変化：
原田和典(京都大学)
5. アンケート報告と提言(案)の紹介：
富松太基(日本設計)
6. まとめ 田中哮義(京都大学・防火委員会委員長)

詳細は建築学会HPで！！

Journal of Fire Protection Engineering

Vol.18 No.4 November 2008

Effect of Fire on the Residual Mechanical Properties and Structural Performance of Reinforced Concrete Beams. (鉄筋コンクリート梁の残存機械的特例および構造性能に対する火災の影響)

J.-H. Hsu and C.-S. Lin

Resisting Collapse of Steel-faced Sandwich Panel Walls and Ceilings Exposed to Fire. (火災に暴露した鋼板サンドイッチパネル壁および天井材の耐崩壊性)

G. M. E. Cooke

Investigating the Representation of Merging Behavior at the Floor-Stair Interface in Computer Simulations of Multi-Floor Building Evacuations.

(多層階建築物の避難のコンピューター・シミュレーションにいける床・階段間における合併する挙動表示の研究)

E. R. Galea, G. Sharp and P. J. Lawrence

Fire Protection Engineering No.40 FALL 2008

Ten Years - Changes in the Profession:What's New in Passive Fire Protection. (10年間 専門職の変化 一受動的防火における新着情報)

New Products that have become available over the past decade.

(過去十年間に利用可能になった新製品)

Richard Davis, P.E., FSFPE.

Development in the Design of Smoke Control Systems. (排煙設備設計における開発)

An evolution that will present ongoing challenges for FPEs moving forward. (前進中の防火技術者のための進行中の挑戦を示す進展)

Michael J. Ferreiro, P.E..

Fire-Related Human Behavior (火災に関連する人間挙動)

How knowledge has expanded, and why it continue to grow. (知識はどのように拡大したか、そしてなぜそれ、成長し続けるのか)

T. Steven Wright, P/ E.

History of Fire Protection Engineering (防火技術者の歴史)

Events that have shaped and influenced the field. (フィールドを形作り、影響を及ぼした出来事)

Arthur E. Cote, P.E., FSFPE

Impact of Fires On the Built Environment Over the Past 10 Years. (過去10年間にわたる環境を構築した火災の影響)

How significant fire tragedies have affected the public's perception of fire hazards. (重大な火災惨事は、どのように公共の火災危険の認識に影響したか)

Michael A. Crowley, P.E., FSFPE

Retirement - Is There Life After Fire Engineering? (引退 防火エンジニアリングの後に寿命があるのか?)

Opportunities abound for "Baby Boomer" FPEs. (「ベビーブーマー(団塊の世代)」の防火技術者にたくさんある機会)

Peter Johnson, P.E., FSFPE

Survivable Design and Installation of Signaling Systems for Disaster Management, Part 2 of 2.

(災害マネジメントのための生存設計と報知システムの施工)

Code-mandated circuit and equipment survivability requirements.

(規定で命じられている回路および装置の生存要求)

NEMA

理事会等の開催結果

理事会を以下の日に実施しました。

10月17日(金)

12月10日(水)

△